

▲△1：労山基金加入者でココヘリ会員に、交付枠を拡大 救助搜索費用交付上限額を「1000倍」までに引き上げ

会員制搜索ヘリシステム「ココヘリ」加入者について労山基金の交付枠が拡大されました。

※「ココヘリ」システムは年会費3,650円で貸与される小型発信機を登山に携行することにより、万一の際に上空のヘリコプターから位置が特定され、速やかな救助を可能とするシステムです。年会費の他に入会金3,000円が必要ですが、労山は運営会社との協定により、労山会員の入会金を無料としています。

労山基金では、万が一の遭難で救助搜索費が発生した場合、救助搜索費交付の上限を寄付金の300～400倍までとしています。しかし、6月1日からこれが一部改正され、労山基金加入者で「ココヘリ」会員についてのみ、1,000倍にまで引き上げられました。この改正は、労山基金運営委員会が「労山山岳事故対策基金」細則-1改正を提起し、5月の全国理事会で承認されたことによるものです。これにより、ココヘリ会員は労山基金1口1,000円加入でも救助搜索費交付の上限は100万円まで、10口10,000円の加入者なら1,000万円までが基金から交付されます。

ただし、注意点が3つあります。

- ①ココヘリの搜索は国内だけであり、海外での事故は対象外。
- ②当該山行にヒトココを携帯していなかったり、携帯していても発信していなかった場合は、ココヘリ会員であっても適用外であり、通常交付となる。
- ③「ココヘリ」を一度退会して再入会した場合は、労山会員の入会金無料は適用されず、有料となる。仮に一年間海外生活をするなどで、その間ココヘリ会費納入をストップすると、再入会は3000円の入会金が必要となる。

○「ココヘリ労山搜索隊」制度を創設

また、今回の措置とあわせて、「ココヘリ労山搜索隊」制度を創設しました。

これは、労山基金10口加入者である「ココヘリ」会員の希望者に対して、遭難者の搜索に協力してもらいかわりに、ヒトココ親機を無料で貸し出す制度です。現在、ヒトココ親機は販売されていませんが、登録された隊員に無料で貸し出されます。これは任意での協力であり、強制ではありません。

隊員は希望者が事前に登録され、「ココヘリ」に加入する労山会員が山岳遭難で行方不明になって、ヘリコプターでの搜索ができない場合（雨天や夜間）や、発見されたが、正確な位置が不明で、地上からの救助隊がヒトココ親機を持っていない場合に、同行して搜索に協力するものです。こうしたケースが発生した場合、ヒトココ本部から登録全隊員にメールで出動要請が発信さ

れます。 出動可能の返信があった隊員のうち、一番現場に近い隊員に出動が依頼されます。捜索隊員は全国で100名ほどを募集する予定です。出動には、日当や交通費が支給されます。

▲▲2 : 労山自然保護講座 参加者募集中

7月6日～7日 徳島県で

全国連盟自然保護員会（竹本幸造委員長）は、第22回自然保護講座を7月6日～7日に、徳島県の神山温泉で開催します。テーマは「大規模開発による山岳自然破壊影響を探る」。いま、日本全国で自然を著しく傷つけるような大規模開発計画が進められています。たとえば、南アルプスをトンネルで貫くりニア新幹線計画、和歌山県のメガソーラー設置、京都などの産廃問題、四国／徳島県・剣山系への大規模風力発電計画等です。今回の自然保護講座では、この剣山風力発電計画について学習し、現地調査もします。剣山は四国／徳島県を代表する山です。豊かな自然をどうしたら守れるかを考えてみましょう。全国からの参加をお待ちしています。

- 日 程 2019年7月6日（土）～7日（日）
- 会 場 神山温泉ホテル四季の里会議室
徳島県名西郡神山町神領本上角 80-2 〒771-3310
TEL088-676-1117
- 宿泊場所 コットンフィールド（貸バンガロー、キャンプ場）
徳島県名西郡神山町神領西上角 〒771-3310
TEL088-676-0803 （会議場所から南へ徒歩5分）
- 講座参加費 無料、但し現地までの交通費は参加者負担
- 宿泊費 6000円程（マイクロバス利用、交流会費含む）
- 参加者数 35名 ＊定員になり次第締め切りと致します。
- 申込先 HP から実施要項と申込書をご覧いただけます。
http://www.jwaf.jp/activity/working/data/2019/190515_01.docx

▲▲3 : 2019 全国ハイキング学校は東京・府中で開催

「山でのスマホ活用術」教えます 先着30名限定

9月28日（土）～29日（日）に行われる、「2019 全国ハイキング学校」は内容を一新し、登山・ハイキングをめぐる最新の知見や知識を学べる学校としました。会場は、東京都府中市のホテル・コンチネンタルです。目玉は、2日目の「山でのスマホ活用術」。講師は全国連盟理事の阿部哲也氏。初心者でも、1からわかる講座です。自分のスマホを持って、ご参加ください。30名限定で、定員になりしだい、締め切ります。

- 【日時】 2019年9月28日（土）13:00～29（日）12:00 1泊2日
- 【会場】 ホテル・コンチネンタル府中 （東京都府中市府中町1-5-1）

- 【講習内容】 別紙参照
【参加費】 9,000円（1泊2食付）
【募集人数】 30名（申し込みが定員に達し次第、締め切ります）
【主催および申込先】 日本勤労者山岳連盟（主管：ハイキング委員会）

▲▲4：2020年版労山カレンダー サイズを小型化 写真応募締切間近 まだ間に合う 多数ご応募ください

2020年版「労山カレンダー」は、労山創立60周年を迎え、新たな試みを行なうことにしました。従来の大判サイズは写真が大きすぎて迫力がありますが、「大きすぎて扱いにくい」との声がありました。このため、サイズを従来ので壁掛け型大判（A2版）から、二つ折りA4サイズに小型化します。これにともない、従来の2か月で1枚の写真（表紙もいれて全7枚）が1か月ごとの写真（表紙含め13枚）に替わり、これまでの倍の写真枚数が必要です。

写真募集の締め切りは6月17日（月）です。まだ、応募作品が少なめなので、ぜひふるってご応募ください。昨年も、冬山に比べて夏山の写真が少なく、また、水のある風景や山小屋、草花などの写真が少なく、地方の山の写真も少ない傾向がありました。日本の山の豊かさを多方面から感じられるよう、季節感や地域性あふれる写真をお待ちしております。

なお、二つ折り型のため、地方連盟や会の名入れは困難ですので、今回は全国連盟統一版のみとなります。その分、販売価格は検討中です。

では、再度募集要項を案内します。



昨年の写真選考模様
選者は小松由佳さん

- 締め切り：2019年6月17日（月）必着
- 作品：①応募は一人10点まで。過去の応募作品も可（採用作品を除く）
 - ②合成不可
 - ③CD-Rに入れて提出のこと。
フィルムカメラでの撮影の場合、デジタル化してCD-Rに入れるか、またはA4サイズのプリント写真にて提出。
 - ④デジタルデータの場合、1000万画素以上での応募を原則とする。
- その他
 - ・各作品ごとにタイトル（被写体名）と撮影年月日を明記。
 - ・作品返却を希望する場合は、切手を貼った返信用封筒（宛先記載済）を同封する。
 - ・氏名、所属団体、住所、電話番号、メールアドレスを添えて以下へ郵送する。

■応募先：〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24 日本勤労者山岳連盟カレンダー係

■選考：フォトグラファー 小松由佳 氏

▲△5：高校山岳部員が10年間で1.7倍に 野外活動に高まる関心



「高校の山岳部員数が増加している」—こんな記事が山岳雑誌『岳人』6月号に掲載されました。

全国の高校山岳部に所属する生徒数が2009年を境に増加に転じ、10年で1.7倍になったというのです。数ある部活動のうち、山岳部に所属する生徒数は少数とはいえ、気になるニュー

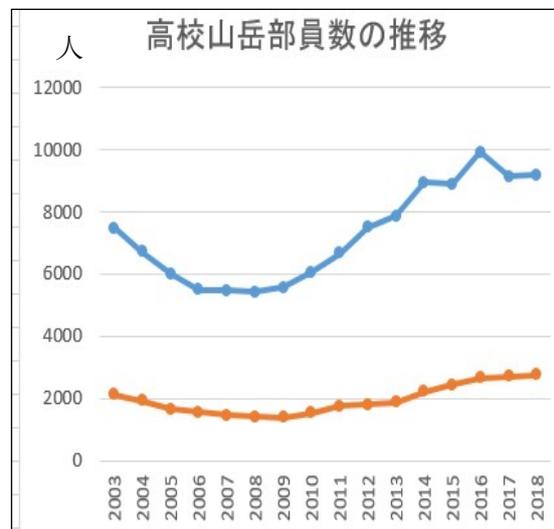
ースです。その背景には、2011年の東日本大震災以降、全国で自然災害が頻発し、それを背景に野外活動の重要性への関心が高まっているとの見方もあります。実際、宮城や岩手の被災地で活動する労山の会からも、似たような話を聞きます。

こうした動きを、私たち労山は、どのようにキャッチし、私たちの活動に生かせるか。大きな課題です。(表は「岳人」より転載)

高校山岳部の所属人数と設置校数の変遷

	男子		女子		全体
	人数	校数	人数	校数	人数
2003年	7,484	1,105	2,133	565	9,617
2004年	6,711	1,053	1,929	507	8,640
2005年	6,006	1,022	1,657	455	7,663
2006年	5,501	988	1,556	399	7,057
2007年	5,472	927	1,463	399	6,935
2008年	5,427	889	1,406	370	6,833
2009年	5,573	849	1,400	343	6,973
2010年	6,052	821	1,545	331	7,597
2011年	6,671	815	1,747	373	8,418
2012年	7,505	822	1,812	378	9,317
2013年	7,867	768	1,891	374	9,758
2014年	8,954	792	2,221	431	11,175
2015年	8,884	780	2,431	416	11,315
2016年	9,924	766	2,674	433	12,598
2017年	9,131	771	2,719	436	11,850
2018年	9,175	742	2,751	445	11,926

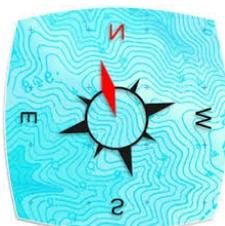
全国高等学校体育連盟 統計資料「加盟登録状況」より



▲△6：知って得する講座「ジオグラフィカを山で使ってみよう」 日本山岳文化学会・誰でも参加できる講演会

山岳文化の調査・研究を通じて、山岳文化の発展・継承をめざす「日本山岳文化学会」遭難分科会の講演会＝「スマホアプリ・ジオグラフィカを山で使ってみよう」が6月19日(水)午後7

時から、千代田区立日比谷図書文化館・日比谷コンベンションホールの大ホールで開かれます。地図アプリ『ジオグラフィカ』開発者の松本圭司氏が、実践を交えて使い方をわかりやすくご紹介します。参加費は500円で、日本山岳文化学会・会員外の方も参加できます（先着200名）。



- 日時：6月19日（水）午後7時～午後9時（開場午後6時30分）
- 場所：日比谷図書文化館 日比谷コンベンションホール 大ホール
アクセスマップ <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/access/>
- 参加費：500円
- 内容：「ジオグラフィカを山で使ってみよう」
ジオグラフィカは、スマホに表示するだけで地図を保存し、携帯圏外の山奥でも機能する新世代の登山用GPSアプリです。

▲△7：労山副会長 藤元理津子さんが広島～長崎を通し行進 2019年平和行進 「平和でこそ登山を楽しめる」

2019年の原水爆禁止「国民平和行進」が進行中です。今年の平和行進には、日本勤労者山岳連盟の推薦を受けて、副会長の藤元理津子さんが7月5日広島平和公園～8月6日長崎市松山公園までを通し行進します。ぜひ、仲間の皆さんの応援をお願いします。

山を愛する仲間の皆さま

戦争、核兵器はわが子も、孫も、親も町もすべてを亡くし破壊する最悪の犯罪であり、あってはなりません。

登山者にとっても、豊かな日本の山々は平和であってこそ夢が広がります。労山が謳う「平和でこそ登山」は、国の内外へ平和を訴え連帯を求めます。通し行進者の役割を担って皆さんと共に核兵器廃絶を訴え、ご一緒に歩けるのを誇りに思います。

全国の山を愛する仲間のみなさま、平和行進でお会いしましょう。



全国連盟
副会長
（東京都
連盟・グ
ルッペわ
た
すげ所属）

藤元理津子

日程	行進する県	集合場所・時間
7月5日～6日	広島	9:50 広島・平和公園噴水前
7月7日～16日	山口	9:00 JR大野浦駅
7月16日～26日	福岡	9:30 門司鎮西公園前
7月26日～8月1日	佐賀	12:00 基山町役場前
8月1日～6日	長崎	11:30 川内支所
8月7日～8日	長崎	原水爆禁止世界大会に参加

▲△8 : 「登山時報」は購読部数・金額を確認のうえ前納を 事務局よりお願い

いつも登山時報の購読、お力添えをありがとうございます。

日本勤労者山岳連盟の発行する「登山時報」は、全国の会員の皆さんをつなぐ機関誌です。1974年から現在までに532号を数えます。加盟団体に各1部を無料で配布しているほか、会員内外で有料購読していただいています。

そのうち、団体（会）でまとめてご購入いただいている場合の購読料納入に関してのお願いです。各会で担当されている皆様は、事前に以下をご確認ください。

(1) 購読料は前納が原則 団体購読の場合、納入額は1部につき260円

団体購読（全国連盟から各会へ購読部数をまとめて送付、会から購読者へ配布・集金）の場合、会から全国連盟への納入額は、1部につき260円（定価310円から50円差し引いた金額）×有料購読部数×12月が基本で、前納してください。

※差額の50円は、ご協力いただいている団体の事務手数料相当分です。各会でご活用ください。

(2) 前納済額が半端な金額？

「登山時報」の購読料は、前納いただいた購読料をプールして、毎月の購読料を差し引いていく方法で管理をしています。よく、「うちの会は何月分まで納入していますか？」との問い合わせがありますが、全国連盟では月分ではなく、残金額での管理です。購読料を納入する場合には、残金を考慮して金額を計算してください。前年の途中で購読部数を変更したなどの理由で残金又は未納金があるかもしれません。数年にわたる繰越金があることもあります。

購読部数や残金・未納額は、本誌に同封の「納入のお願い」（残金が2か月分を切ると、同封される）で確認し、半端な金額が残らないよう納入時に調整してください。

※団体（会）内での記録と「納入のお願い」での記載内容が異なる場合は、全国連盟事務局へお問い合わせください。また、希望があれば購読部数や出入金の履歴を送付しています。

(3) 部数変更はメールまたはFAXで、発送月の10日まで

「登山時報」は毎月15日に発行しています。部数変更は、その月の初旬（10日まで）に下記までご連絡ください。これを過ぎると、部数変更は翌月となります。

メール tozanjiho@jwaf.jp

FAX 03-3235-4324